

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月22日

計画の名称	香深港における港湾利用の効率性・安全性の向上													
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	礼文町													
計画の目標	老朽化した施設の計画的な改良を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		450	A	450	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用に支障が生じているため岸壁の改良により効率性・安全性の向上を図る。 施設利用に支障が生じている新港中央岸壁の改良により、施設の危険箇所を解消率を算出する。 (対策済み施設の割合) = (不陸や段差、水溜り等の危険箇所が解消された施設面積) / (整備計画面積)	0%	100%	100%
2	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用を規制しているため物揚場の改良により効率性・安全性の向上を図る。 利用規制している物揚場の整備により、利用可能となる面積を算出する。 (対策済み施設の割合) = (利用可能となる面積) / (利用規制している面積)	0%	100%	100%
3	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用に支障が生じているため船揚場の改良により効率性・安全性の向上を図る。 施設利用に支障が生じている北船揚場の改良により、施設の危険箇所を解消率を算出する。 (対策済み施設の割合) = (陥没や段差、欠損等の危険箇所が解消された施設面積) / (整備計画面積)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	礼文町	直接	礼文町	地方	改良	岸壁整備事業	上部工、舗装工、付属工改修	香深港(本港地区)						122		-	
	A02-002	港湾	北海道	礼文町	直接	礼文町	地方	改良	係留施設整備事業	第二物揚場改修	香深港(本港地区)						218		-	
	A02-003	港湾	北海道	礼文町	直接	礼文町	地方	改良	船揚場整備事業	北船揚場改修	香深港(本港地区)						110		-	
												小計						450		
												合計						450		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	37	37	37		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	37	37	37		
前年度からの繰越額 (d)	0	20	0		
支払済額 (e)	17	57	37		
翌年度繰越額 (f)	20	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					